

東京都立東大和南高等学校 宿泊に伴う防災訓練参加報告

南街・桜が丘地域防災協議会本部

平成28年07月20日

1. 序

本紙に添付資料の通り07月20日に都立東大和南高校で第回5回目の防災訓練が実施され、この訓練には訓練指導として北多摩西部消防署、市の防災安全課及び訓練参加団として体東大和市社会福祉協議会、東大和市立第二小学校 PTA、南街・桜が丘地域会員から30名強の参加者ありました。

今回の防災訓練は昨年同様一年生を対象として東大和市防災安全課からの「避難所体験訓練」及び北多摩西部消防署からの「防災講話」及び自主訓練としての「α化米炊き出し」を体験した後に、学校内での「宿泊(一泊)」を実施しました。

都立東大和南高校は当防災協議会の地域内に建設されている施設であり、東大和市の防災マップ上には、災害時避難場所として設定されております。同高校とは震災等に備えて施設のキーを当防災協議会で預かる防災協定を締結しておりますが、今回もお預かりしているキーを使用して施設の開錠訓練を実施しました。

● 地域住民と学校側との施設開錠訓練の実施及び生徒さんの避難所体験訓練と防災講話の見学(クロスロード訓練)

● 炊き出し訓練

● 宿泊訓練

2. 参加生徒/教員・職員数

生徒総数(一年生が対象); 278名

教員・職員数 ; 18名



2. 参加団体

北多摩西部消防署、東大和山市役所(防災安全課)、東大和市社会福祉協議会、東大和市第二小学校 PTA、南街・桜ヶ丘地域防災協議会

3. 防災訓練内容

- 3.1. 防災協議会による通用門/玄関及び体育館の開錠訓練
- 3.2. 地域住民避難所設営訓練; 市民生活課が担当
- 3.3. 東大和南高校クロスロード訓練; 北多摩西部消防署が担当
- 3.4. 非常食の炊き出し訓練
- 3.5. 防災講話; 被災体験に基づく講話 ; 同校教諭; 鈴木啓一先生
- 3.6. 宿泊訓練(学校の校舎内で宿泊しました)



4. 防災協議会の通用門／玄関／体育館の開錠訓練

正門前での東京ユニオンガーデン大西様からの訓練事前説明状況



正門開錠／開門訓練



開錠した状況



閉門した状況



東門開錠／開門訓練

東門前に集合



開錠開始



開門作業認



閉門作業確認



東京都防災倉庫

防災倉庫見学（2基の倉庫が設置）



防災倉庫説明



玄関の開錠

コントロールボックス



玄関開錠説明



北門開錠／開門訓練

北門錠前確認



開錠作業開始



体育館扉開錠／開放訓練
コントロール Box 操作確認



コントロール Box



体育館内各種訓練の為、一年生集合状況

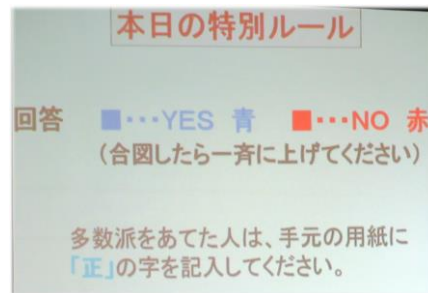
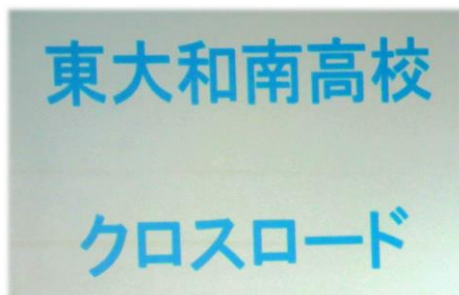


5. 地域住民避難所設営訓練；東大和市役所市民生活課が担当
 訓練は各クラス代表者による地域住民避難所設営訓練を行い他の生徒はその
 訓練状況の見学を行った。訓練終了後設営結果のディスカッションを行いました。
 どの様形で避難所を設営すれば良いかの訓練が出来たと思います。



6. 東大和南高校クロスロード訓練

北多摩西部消防署が担当してクロスロードの形で質問に対して何れか選択しました。回答には考え方により正解多様化します。災害時の状況に応じて何をすべきかを考える良い訓練でした。



質問は 10 項目ありその概略質問内容及びその結果は以下の通りです。

(参加者約 400 名で人数の多い意見で判定しました)

質問内容	その結果
1. 自治会に入りますか	×
2. 地震保険に入りますか	○
3. 残り湯を残しておきますか	×
4. ボランティア保険はその地域で付加すべきですか	×
5. 避難所に飼い犬を連れて行きますか	○
6. 避難所で不足食料を配布しますか(人数 3000 人、食料 2000 食)	○
7. 私の非常袋に食料あり、これを避難所で食べられますか	○
8. ボランティアの人が体育館の裏でいちゃついているが、注意しない	○
9. 経営不振の会社が在庫品を無償支給しますか	○
10. 海辺の住まいで 10 分後に津波が来るが、他人を助けに行きますか	○

宿泊防災訓練 実施要領

平成28年7月20日

8 生徒への事前指導 他

- (1) 持ち物 ... タオルケット、タオル(2枚)、洗面具、体育館履き
飲用水、常備薬
- (2) 係り決め ... 代表2(HR)、給食8、清掃(男2 女2)、保健(男1、女1)
毛布(男7、女3)、発表(1)
- (3) 自動販売機 ... 18:00に停止

9 時 程

7月20日(水)

14:45

15:00 校長挨拶

15:10 訓練開始

体育館での
全体指揮
(副校長)

17:00 訓練終了・清掃

18:00 HR

18:30 非常食訓練開始

生徒(各クラス給食係8名)
・備蓄米班 防災倉庫→調理室へ備蓄米を搬入して調理。
(各クラス4名)
・水班 防災倉庫→各教室へ
(各クラス2名)
・クラッカー班 防災倉庫→各教室
(各クラス2名)

生徒(各クラス毛布係8名)
・毛布班 社会科室→各宿泊教室へ
・ダンボール班 3 階倉庫→各教室へ
クラスに指示

19:00 頃

非常食体験①

20:20 移動

20:30 講話

21:15 まとめ①

更衣開始 ※体育着で体育館に集合・訓練開始

校長挨拶・協力機関の紹介

(北多摩西部消防署、南町安が丘地区防災協議会、東大和市防災安全課)

○ 整列：高山、司会：佐々木、放送：原島、記録：中村

防災本部設置(校長室) 救護本部(保健室)

○ 防災本部：校長、副校長、企画室長(17:00まで)

○ 救護本部：佐藤・南山(17:00時まで)、伊東・大原(17:00以降)

●東大和市防災安全課による「地域住民避難所設置訓練」

●北多摩西部消防署による「東大和南高校クロスロード」

進路部
生徒指示と誘導
生徒は東大和防災マップを全員持参

各クラス代表(男子5、女子5)

2学年(澤田、宮崎) 消防が生徒に質問→マイクを向ける。生徒は青赤用紙、メモ用紙、鉛筆を用意

4階教室へ集合。諸連絡。宿泊できない生徒への指示。

※ 宿泊できない生徒はここで下校。

健康チェック3回実施
(HR・就寝前・翌朝)

夕食場所は、2階の普通教室。

1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7
↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7

防災倉庫 高山・原島・大原
1階ラウンジ 齊藤・柳
3階倉庫 伊東・中村

【生徒】

給食係 防災備蓄倉庫へ行き、備蓄米とクラッカーを調理室へ運ぶ。備蓄米は調理をしてから、クラッカーは人数分を数えて2階教室へ。
清掃係 再度の教室清掃とゴミ回収の準備
毛布係 防災備蓄倉庫へ行き、毛布を1階ラウンジへ運ぶ。
ダンボールの準備
保健係 体調の悪い生徒の調査と、救護本部への連絡(18:50)

【教職員】

担当の部署へ

- ① アルファ化米 1箱50人食を、各クラス1箱
- ② 乾パン 1人1包(各クラス人数分を持っていく)
- ③ 水 1人1.5Lを1本(各クラス人数分を持っていく)

調理指導教員
柳・伊東・根岸・タンボの会
(南町女性会) 5人

教員用調理
(中村・大原)

宿泊準備ができた2階教室へ移動。

食事の用意ができたクラスから順次、食事をとって、周辺の片付けと清掃をする。

指示にしたがって体育館へ移動。クラス別男女2列に整列・点呼。

※ 貴重品・筆記具持参。

本校 鈴木啓一先生による、被災体験に基づく講話

「防災と自助・共助の活動について」

(整列：高山、司会：佐々木、放送：原島、写真：中村)

講話終了後、その場で「まとめシート」の記入。

19:30 生徒(各クラス4名男2・女2) 清掃委員 ゴミをまとめて1Fラウンジへ
教員(佐々木・根岸・原島)